

〈四月～六月の法座案内〉

花まつり・子ども会

○四月十四日(日)十時～

午前十時～花まつり(勤行・法話)
終了後、書院に移動し子ども会

宗祖を訪ねて

○五月三日(金)十四時～

○六月三日(月)十四時～

味読正信偈

○四月十三日(土)九時半～

○五月十三日(月)九時半～

○六月十三日(木)九時半～

歎異抄を読む

○四月二十三日(火)九時半～

○六月二十三日(日)九時半～

〈ご案内〉

山城第二組同朋の集い

○四月十日 バスツアー

東本願寺大門前集合

〈結婚式〉



二〇一九年
二月二日

挙式
甘蔗生 望さん
渡邊 直樹さん

二〇一八年結婚式予約状況

☆四月七日

☆四月二十九日

☆六月九日

本田家

藤谷・村上家

裏谷・仁科家

※詳細はホームページをご覧ください
<http://okazakibetsuin.com/wedding/>

出張結婚式・道具貸出について

最近結婚式について問い合わせを
お受けすることが増えております。

○自坊で行いたい道具がない

○司婚、司会がない

○次第や荘厳について・・・等

ご相談のある方は別院までご連絡
下さい。

へ列座のつづやき

原稿を作成している頃は境内の梅がたくさん
咲いております。

発行される頃には桜が咲き始めているのか、
はたまたすでに散っているのか、それとも「そ
ろそろ桜かな」と思っているのか。毎年の事な
がら花が咲いたのを見て「そろそろそんな季節
か」と思っています。

団体参拝の問い合わせ等で稀に「この頃は桜
咲いてますか」などと聞かれることもあるので
すが、「いつも咲いてから気づいていますので
いつ頃咲くのかは気にしたことありません」
とは思っていても、そんな返事は出来ず、パソ
コンで調べながらお答えさせて頂いております。
毎年の事ながら「そろそろ季節が暖かく(寒
く)なってきた」と考えずに毎日毎日の事に追
われていつの間にか日が暮れている、今年は蕾
ぐらいは気にする余裕を持てれば、と思ってい
ます。

(近藤)

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派(東本願寺)

岡崎別院

〒606-8335

京都市左京区岡崎天王町

26番地

電話・FAX 075-771-2921

<http://okazakibetsuin.com>
info@okazakibetsuin.com



第39号
平成31年
(2019年)
4月・5月
・6月号
発行：編集
岡崎別院
輪番 福田 大

亡き人に 迷うなど

拝まれている この私

本多恵師

先日、義兄(姉の夫)が亡くなった。六十九年の生涯であつた。交友関係の広い、人間味溢れるひとで、私も大変御世話になった一人である。

亡くなる数日前から危篤状態が続き、耳元で話しかけると少し目を開けようとしてくれた。親族が遠方からも駆けつけ、話かける状態を続けるも、数日後には容態が急変し、心臓マッサージの甲斐もなく亡くなった。

今回、葬儀を行う喪主の大変さが身に沁みた。悲しみの中の葬儀の段取り、日程の調整、親族に対する食事や宿泊の手配など、必要に迫られて決定しなければならない数々のことが一挙に押し寄せてくる。これまで、葬儀にはもう何百回も出仕させて頂いてはいるが、初めて葬儀を出す側の身になった。

枕経、通夜、葬儀、還骨と次第が進行していくなかで、故人とかかわった場面のひとつひとつが目に見え、また、言葉となつて蘇ってきた。日常、忘れていた故人との対話ですら鮮やかに思い出されてきた。

「死者たちよ(中略)／生きている亡者を／はげしくゆすつて／よびさましてください」栗原貞子氏の言葉(中略)である。昨日の続きが、今日で、今日の続きが明日のようにして日々を送り、今生きているのが当然で、一人で生きていくような錯覚のなかで、ひとを手助けしたことは憶えているが支えられている私であることを忘れて生きている私。この私をゆすり、よびさまされる仏事を葬儀というのではないか。

葬儀とは、決して単なる別れの儀式ではない。故人と“どこでも”いつでも、出遇う始まりの仏事である。遺骨となった故人が生きて働くがごとくに「お前もいつかは死んでいく今を生きているんだよ」「今日も生まれてきてよかったと言える一日だったか」とこの私を促し、「本当に生きたと言える人生を送ってくれよ」と、いう願いになって私にまで届け続けているのである。

亡き人に迷わないでくださいと拝むのではない。亡き人から私が「迷わないでください」と願われていることが領けたとき、初めて私の手が合さり、私の頭が下がり、『南無阿弥陀仏』と私の口から不思議にもお念仏を申すことができる世界が開けるのではなからうか。そのことを本多恵氏は「亡き人から迷うなど拝まれているこの私」と的確なことばでこの私に言い残してくださっているように思う。

二〇一九年 花まつり・子ども会のご案内



四月一四日一〇時より「花まつり・子ども会」を行います。
詳細内容につきましては原稿作成時点（三月一日）では未定な部分もございますが、例年であれば、勤行・灌仏の後、輪番よりの法話、その後子ども会として簡単なレクリエーションの後、書院に移って軽食、という形をとらせて頂いております。

本年も基本的には同様の進行となる予定ですが、輪番の法話の前に催しを行う予定です。

また一昨年はたこ焼き、昨年は焼き芋を皆さんで頂きましたが、今回は別なものを考えております。未定な部分も多く申し訳ありませんが、今年に限り「今年しかできないもの」を協議中です。

＊花まつりに関してはどなたでも無料でご参加頂ける形になりますが、子ども会では簡単な食事等を予定しております。一家族につき五〇〇円程度の参加費を予定しています。
多数のご参加をお待ちしております。



研修生 猪本恵美氏



聖蹟参拝の様子（写真は誕生院）

研修生・聖蹟参拝

二〇一八年末〜二〇一九年に渡って現在専修学院へ学ばれているブラジルからの生徒を研修生として受け入れを行いました。

限られた日数ではありませんでしたが、各種行事や法務、日常業務等に参加頂き、一月二九日には列座随行にて聖蹟参拝に行っていました。

左記に研修生よりの感想を掲載いたします。＊原文のまま記載します。

昨年の四月から山科の専修学院で勉強させていただきました。冬休みの間、岡崎別院で研修をさせていただきました。岡崎別院のお二人の先生のご指導の下でたくさん学びをただけではなく、体験できたことに感謝しています。
そして皆様とは大掃除とすすはらいを共にし、その時の初体験であることとの感動を一生大切な思い出として忘れられないことであろうと思います。
忘年会で日本とブラジルの文化や習慣についてお話できたこともとても嬉しかったです。
坊主さんと仏花の教室で見事な仏花を見せていただいたこと、本当にすべてが学びとなっていました。
合掌

バスツアー案内

主な行程

四月十日、例年行っております「山城第二組同朋の集いバスツアー」が行われます。
ご参加の方は当日七時四十五分までに東本願寺御影堂門前までに時間厳守にて集合下さい。
＊既に申込締切は終了しております。

東本願寺

姫路城

姫路別院

ホテルにて食事

鶴林寺

御影堂門前

境内地内工事について

二〇一九年三月二十五日〜七月十二日（予定）の期間、境内にて敷地調査を行っております。

つきましては当該期間別院へお越しの際は駐車場の利用等につきましてご注意ください。
＊五月中は丸太町通り沿いのガレージも使用不可となります。

期間中、バスでの来院の場合、別院境内には駐車が出来ませんのでご了承下さい。工事終了後は使用いただけます。

お煤払い



本堂内でのすす払い

十二月二十三日、岡崎別院本堂のお煤払いが行われた。一列に並んで竹の棒で畳を叩き、大団扇で一年間の埃を払った。
内陣の御厨子の屋根の掃除や、庫裏や書院、御殿の掃除機がけ、縁の拭き掃除なども行われた。約二十名が参加した。
終了後は書院へ、別院忘年会が開かれた。

歳暮勤行



勤行後の法話

一月三十一日、歳暮勤行が厳修された。
新年に向け荘厳された本堂で、十五時より勤行が始まり、勤行の後、輪番より法話があった。

修正会



輪番より新年の挨拶

一月一日午前七時より、別院本堂にて修正会が厳修された。
本堂での勤行後、輪番による新年の挨拶と法話があった。
三日講員など六名程が参詣された。

三日講新年会

一月十三日、岡崎別院新年会が行われた。（今年よりご門徒・三日講合同での新年会とさせていただきます。）
本堂で通常の三日講の法座の後、書院に移り、参加者で料理を頂いた。
＊当日は職員が列座一名のみでしたので写真撮影が出来ず、文字のみでの報告となりますことをご了承下さい。

維持費・三日講費のお願い

四月より新年度となります。ご門徒の皆様には例年お願いしております別院維持費のご案内を同封させて頂いております。ご協力をお願いいたします。
また三日講員の皆様には新年度三日講費の納入のご案内を同封させて頂いております。既に先んじてお納め頂いている方には行き違い、ご容赦下さい。